

日本脳神経外傷学会 認定専門医

受験資格

以下の①～⑥をすべて満たすものとします。

- ① 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医
日本救急医学会 救急科専門医
のいずれかを有していること。
 - ② 受験申請締め切り時点で、日本脳神経外傷学会に在籍3年度以上で会費を完納していること。
 - ③ 日本脳神経外傷学会認定研修施設で、通年1年以上の研修歴（初期研修は含みません）があり、現在脳神経外傷診療に従事していること。
 - ④ 日本脳神経外傷学会で、1回以上筆頭演者として発表ないし講演していること。
 - ⑤ 本学会機関誌「神経外傷」に1編以上（共著でも可）掲載されていること。あるいは「神経外傷」以外の査読制度のある学術雑誌に、脳神経外傷に関する原著論文あるいは症例報告が2編以上（共著でも可）掲載されていること。
 - ⑥ 症例経験
 - a) 脳神経外科専門医
 - 1) 頭部外傷の開頭術（うち、術者として5例）
 - 2) 頭部外傷患者の脳・神経モニタリングを含めた神経集中治療管理[※]
 - 3) 外傷性脊椎・脊髄・末梢神経疾患の保存的治療あるいは術前術後管理（入院症例に限る）1), 2), 3) の合計50例以上（重複可）
 - b) 救急科専門医
 - 1) 頭部外傷を含む多発外傷患者の初期診療と脳・神経モニタリングを含めた神経集中治療管理[※]
 - 2) 頭部外傷の開頭術（助手でも可）
 - 3) 外傷性脊椎・脊髄・末梢神経疾患の保存的治療あるいは術前術後管理（入院症例に限る）1), 2), 3) の合計50例以上（重複可）
- [※] ICP（髄液ドレナージからの測定含む）、SjO₂、脳波、誘発電位（ABR、SEP、MEP、P300）、Laser Doppler flowmetry、TCD、AVDO₂、rSO₂、NIRS、AVD glucose、AVD lactate、microdialysis、血液・髄液マーカー、頸静脈温、脳実質温、瞳孔反応測定等の少なくとも1項目目以上を行ったもの

選考方法

書類審査（申請書、各科専門医認定書（コピー）、症例一覧）と筆記試験

更新条件（更新期間5年）

- 5年間に3回以上の学術総会出席
- 5年間に2回以上の脳神経外傷学会での発表（共同演者も可）または機関誌「神経外傷」での発表（共同著者も可）
- 5年間に3回以上の専門医指導医講習会出席